



山ぶき新品種「みさと」

山ぶきは、小ぶりで独特の香りと歯ざわりが喜ばれ商品価値が高まっているが、山ぶき産地の多くは主に山採り出荷されていて、系統が雑多であることから品質の均一化と早期出荷が求められている。

そこで、早生で品質の優れた山ぶき専用品種「みさと」を、農家と共同で選抜育成し、品種登録を出願しました。

「みさと」の特長

- ① 4月中旬から収穫できる早生で、性別はオスであるため混種の危険性が少ない。
- ② 葉柄は根もとの紅色部分が長く色も鮮やかで、軸の緑色も濃く鮮明である。
- ③ 条斑や毛が少なく秀品率が高い。また茹でた後も香りが強い。
- ④ ふきのとうは卵型でよく締まり、濃緑色で香りが良く収量も多い。
- ⑤ 葉柄・ふきのとうとも山ぶきとして適当な大きさと、規格外品が少ない。

栽培上の留意点

- ① 敷き草により根もとの着色度が増すとともに収量も増加する。
- ② 窒素肥料の多施用は品質低下を招く。
- ③ ハウス栽培は十分寒さに遭わせた後ビニール被覆する。
- ④ 水はけの良い場所で栽培する。
- ⑤ 他品種と比較し、葉面の波打ちが大きい事で区別できるので、異品種は早めに除去する。



葉 柄



ふきのとう

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所

中山間担当

TEL (0883) 72-0239

FAX (0883) 72-6868

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>